

【海外に移住するための情報は大本営発表的に統制されている？】

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは！！

さてさて、私は今日本の起業家さんとか投資家さんと
かなり密なスケジュールで会ったり情報交換したり
しているのですが

その中で一番聞かれることってのが私がマレーシアに
住んでたりすからマレーシアの状況についてよく聞かれます。

んで分かったことがあって、私は自分がマレーシアにいたりして
そのマレーシアの物価とか税とか様々なことをメルマガで
無料で書いておりますが、

資産的に富裕層に当たる人ほどもっとその話聞きたいと
言っていた方が多いんだな、ということです。

そんで色々話して分かったのが

「日本の海外移住の情報は情報統制されてる！？」

ってことですね。

これ、やはり日本人を外に逃がしたくないっていう

動機が働いてるのかな〜と。

編集後記で！

=====編集後記=====

さて、私は今日本におりまして、色々な起業家さんや投資家さんと
会ったりしているのですが

やはり私がマレーシアに住んでいるってことでマレーシアの事情のことは
ほんとみんなに色々聞かれます。

というのがかなり多くの投資とかビジネスで成功している人ってのは
日本の今のあり方に相当疑問を抱いておりまして、

海外移住をしたい、検討してる、って言う人がかなりの割合で
いるようでして、

だからといって情報をいくら探してもあまり本質的な現地の情報が
取れないということで

それでマレーシアに住んでたりする私が結構この状況を
日本にいる色々な起業家さんや投資家さんに聞かれたりするわけです。

例えば私がよく書いているマレーシアでの生活とかって
タクシーはGRABを使って大体2, 30分乗っても
タクシー代が10リンギット前後だから270円とかその前後で

そんで家賃5万円～6万円とかでもクアラルンプールの中心部で
100平米以上でセキュリティ24時間付きのプールとジム付き、
眺望もよくてルームサービスなどがあるところに住めたり、

またマレーシアの定期金利はHSBCで2.8%前後で
CIMBとかになると4%前後なので

例えば5000万円あればマレーシアの家族での生活費は
1ヶ月15万円もあれば結構良い生活できるから

定期金利の金利だけで不労所得で暮らせてしまうとか
固定資産税も気絶するほど安いとか

治安が実はかなり良いとか、人々が優しく笑顔満開で暮らしてるとか

そういう話ですよ、

こういうのをメルマガでよく書くのですが

このあたりの情報って全然ネット探しても見つからないらしくて
それをとにかく色々聞かれたりすることが多いわけです。

もうほんとみんなこの辺に興味があるみたいです。

だから年商何十億円とかの社長さんとか超富裕層の日本人の方って
起業家、投資家で実は結構いらっしゃるんですけど

そういう人たちにすごい聞かれることが多いわけですね。

それで私は自分が知ってることってやはり自分の中の常識であるので

日本人たちもきっと知ってることなんだろう、なんて思って

普通に現地の事情をこの海外移住を検討されてる方に話している

わけですけど

まあみんなすごい驚くわけです。

私は日本に住んでいないから、日本人たちの情報がどの程度のものか？

ってのはマレーシアからニュースみたりして類推はしてるのだけど

ただどうもそういうお金持ちの人も実際は、

海外移住とかの本当の状況って知らないのだな・・・

ってのは分かってきました。

特に、中にすごい社長さんがいらっしやって海外に移住するために

情報収集をしていると。

が、全然現地の生活の感じとかそういう物価とか税とか

その辺の話になると、突っ込んだ部分が情報として出ていないため

分からなかったと。

ただ実際にこうやって現実に話聞いて初めてこの辺の事情が分かったから一気に疑問が晴れた、前に進めるって感動されてる方もいらっしやったくらいです。

んでそんな中で私もやはりすごいお金稼いでる社長さんだからこの辺の情報って知ってるんだろうと思っていたわけですが意外にそうではないわけですね。

んで私が伝えているのはメルマガでまさに無料で書いているような現地の情勢だとか内容なんだけどそれがまさにすごい価値があると。

ネットでいくら検索してもそんなゆうさんから聞く情報は上がってこない、とすごい感動していたわけです。

んで、それを言われて私も実は自分が驚いたわけです。

そこで、よくよく聞いてみたらですね、

「日本でいくら情報を探そうとして現地のそういう重要な物価とか税とか本当の生活の治安体感とか、それらの経験に基づいた情報はまず出てこないんです」

ってことでした。

特に私が聞いたのが例えばグーグルなんかの検索エンジンなんかも
海外移住のことを調べると

「どれだけ海外移住が大変で、どれだけVISA取得が大変で
どれだけハードモードか」

を語るブログとか情報サイトばかり出てくるってことでして
私は驚いたのですね。

その社長さんはやはり稼ぎがすごい方でもうお店とか
何店舗もされてるわけですが

だからマレーシアだけじゃなくて香港とかシンガポールとか
まあその辺の情報を色々調べてたらしいですが

全然重要な情報ってのは出てこないんだと。

んで私が驚いたのが、

なんでもビザ取得は非常に大変で云々かんぬんみたいな
そういう情報がやたら出てくるからいまいち動けずにいた

ってことだったんですが

これは私もビザ取得とかしてある種永住ビザみたいのは

取れたけど

意外にそんなに難しくないわけですね。

エージェントさんにお金払ってそれであとは言われたまま

ある程度思考停止してでも取れますから。

だから私はその社長さんに「いやいや、そんな大変じゃなかったですよ。

たぶんそのブログとか情報サイトが嘘書いてます。

僕は実際やったけど今は人気だから待ち時間は長いものの

そんなに難しくなかったですよ」

なんて言った訳ですが

そこでかなり驚かれていました。

んでそこで「ああ、やはり情報って統制されてるのだな」

ということをその方もおっしゃっていて

私もメルマガで書いてる通りそれは以前から感じていたことなので

「はい、たぶん海外に移住するとかの情報は

統制されつつありますね」

みたいな話をしたわけです。

それでここで恐ろしいのがまあ仮に

情報統制されているテレビとか新聞だけで、

海外移住の生の私みたいな情報が出てこないのは分かるんですね。

ただ私はこれらの情報って私の書いた情報は

一応ブログにもアップされてるし

結構大事な情報はメルマガで書いてるわけで

そしてそれらはマレーシアに住んでる邦人にとっては

結構当たり前っちゃ当たりの事書いてるわけです。

クアラルンプールの間層はもはや日本の中間層より

良い暮らしをしている、とか、これもみんな知らないけど

現地の邦人からしたら「まあそんな状況だよな」みたいな感じで

結構当たり前なんです。

これは以前マレーシアで30年近くいるマレーシアと日本つないで

商売してる邦人の社長さんとも話しましたが

その方も商売の経験上、おっしゃってましたよね。

マレーシア人のほうが最近はお金持っていると。

それでテレビや新聞でこれらの情報出てこなくても

ネットでそれらの情報はさすがにまあ出てくるんじゃないか、って

思うわけですが

ネットもこれは情報が出てなくなっているわけです。

特に海外移住関係は。

だから以前よく言われたのは

「テレビ、新聞読んでも人は情報弱者で

ネット使ってる人は情報強者」みたいなことだったろうけど

今の時代違って、テレビ、新聞も情報統制されているし

ネットも同じく情報統制されている、わけですね。

昔「大本営発表」ってのがあって戦時中なんかは

例えば日本軍が負けているのに「日本軍が優勢だ」という

報道が各新聞でされて、日本人を洗脳して情報統制していたわけです。

けど今の2018年の日本も戦争ではないんだけど

同じように、テレビ、新聞、ネットなんかで情報統制が
進んじゃってるってことですよ。

だから昔のようにネットで情報を取ってる人が情報強者という
わけでもなくなっていて、

特にネットでも「大手企業の運営する検索サイトや情報サイト」
なんかは大きく情報統制されていて、特に海外移住関係の生の
情報って見つかりづらくなってまして

なんとか必死こいて相当時間かけるとそれらを語ってる個人サイトが
検索キーワードを相当工夫していくと見つかるっていう
感じになってきているのでしょう。

それでそれに困ってるのは日本人の海外に住みたい人全員でして
特に富裕層とか投資なりビジネスで成功してる人はこれらの情報を
知りたいわけですが

彼らでさえ知らない状態に置かれてしまっている・・・
ってのが現状なんだな〜と分かりました。

ちなみに私が日本語の検索である程度統制されているって
知ってるのがいくつもあるのだけど

例えば上記海外移住の情報なんかは統制されているし

あとは 健康関係の情報も統制されてますね。

昔は個人の東洋医学思想に基づく優れたブログが見つかったものですが

例えば「海外移住したら慢性病治っちゃった」みたいなそういうブログが

結構あって、私の人生に大きな影響を与えたものだけど

それらも検索で見つからなくなってきていて

あとはどう見ても日本では警察国家化、監視国家化が進んでるけど

それらも検索してもちゃんとした警告の発信をしている

そういうブログとかはSEO結果からはじかれているんですね。

ただ英語で検索ワードは対策されるから言いませんが

日本が警察が多すぎる、みたいな話を打って検索すると

結構出てくるんです。

これは私の経験で言えることなんだけど、実は私

20代のころ結構色々な仕事していたんだけど

その中で「検索キーワードを売る仕事」していたんですよ。

検索キーワードってありますよね。

例えば最近なら山口メンバーとか、あとはFXならFX稼ぐ、みたいな
そういうキーワード。

こういう検索キーワードをグーグルではないんだけど
企業にB TO Bで売る仕事をしていました。

ちなみにこのキーワードを売る、とどうなるか??っていうと
そのキーワードで人が検索したときに

お金払った企業さんのページが上位に目だって表示されたり
するわけです。

今はグーグルだけですが、昔は結構検索エンジンって
沢山あって競争が発生していて寡占状態ではなく、

そういう仕事も私はしていたものですけど

例えば検索キーワードで検索数が多くて、お金につながるもの
ってのは一つのキーワードが何百万円で売れたりするんです。

それで私がそこで当時仕事していて気づいたことがあって

「日本語の検索キーワードって結構限られてるんだな」

ってことだったんですね。

人間が調べることなんてある程度実は決まっています

日本語の検索キーワードなんかも大体オフィスで200人でもいれば

大体実のところ網羅できてしまうわけです。

単一のキーワードや、複合キーワードなんかも

検索数の統計が出ているのだけど

そこで検索される言葉なんてのは大体決まってるわけですね。

私はだから当時その検索の仕事を思い出していたものだけど

今のグーグルなんかもそれぞれの検索キーワードで

情報操作しているのだな〜と。

例えば、上の警察国家という話だとやはりそれを検索する人たちって

どこにでも警察官がいるっていう状況に疑問を感じて検索する

わけですね。

私が驚いたのが日本にはファミレスにも警察官がいたし

(これは見回ってるのか分かりませんが、
ファミレスに警察官って昔は見なかった光景。

みんなお客はこの警察官を見ていた)

駅にも警察官が立っていて人々を監視しているし

なんかどこにでも警察官がいるわけです

だから検索したらそれらの状況、警察官がどこにでもいる状況

に疑問を感じるブログとかが昔はヒットしていたはずなんだけど

今は警察国家という単語の検索数が多くなったから

一応ヒットさせるものの、

大体が左翼の闘争を警察が見張っていたとか

そういう記事ばかりなんですね。

いやいや、そうじゃなくて、日常生活でやたら警察官が絡むように

なって警察官が民間施設に入り込んできているって問題を扱ってる記事を

俺は見たいんだ、と思うけど、そういうのはヒットしない。

あくまで右と左の対立ってのが作られた上で存在してるけど

その構図に押し込もうという検索結果ばかりなんです。

例えば「デモに沢山の警察官が！」とかそんな具合ですが

デモなんて一般の人は行かないわけでそれより

日常生活でやたら警察官の監視が厳しくなっているというところのほうが

大事なんだけど、

そういう本質的な部分は引っかけられないように、まるで人の目で記事を選択しているようなSEO結果になってるんですね。

例えばこの前ですが、日本のニュースで私が「ぎょっ」としたのは20歳の大学生の男の子が3歳下の17の高校の生徒さんにラブレターを渡したと。

そんなの私の時代は当たり前のことでしたよね。

けど、それが「ラブレター渡しただけで逮捕されちゃった」というのが西日本新聞で報道されていた。

一応ストーカー規制法らしいけども、これって実質自由恋愛という民衆の社会の営みに警察・国家が介入してるってことで

それこそ警察国家というキーワードだったらそれらの事象も踏まえて警察国家でしょ、

みたいなそういう指摘の生活に密着した内容を掘り下げたものがSEO上位に来ていないとおかしいわけですね。

けどそれらが微妙に言論としてしている人は大勢いるはずなのに人々の検索結果に出てこないように情報統制されてるわけです。

これ私はネットの仕事していたから、また検索キーワードを売る仕事も
していたから結構敏感に感じ取るんですけど

上記の海外移住情報を探していた社長さんも
やはり検索エンジンって統制されてるよな、みたいな話をしていましたよね。

ちなみに、海外移住に関しては以前
記事を書いたけど

これを読めばなぜ、海外移住関係の情報が統制されてるのか分かるかと。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【海外移住する日本人が過去最多、
をどんどん更新してることについて考える！】

<http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/kaigaijuukakosaikou.pdf>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今実のところ、海外移住する日本人ってすごい増えていて
一般の情報みると、それこそ海外が嫌だから日本に結局本拠地を
戻したとかそういうものがあつたりしますが

実際の話は日本から海外に移住する人がどんどん増えてる状況なわけですね。

ここでおそらくけど、「これ以上日本から逃がさない！」

っていう大きな圧力は働いてるんだらうな～というのは
私がすごい感じたところです。

それで日本から海外に移住する人はそれ相応の情報を持ってから
海外に住むわけだけど

その「情報」自体を統制してしまえ、ってことで
今官僚たちが必死こいてテレビ新聞だけじゃなくて検索エンジンも
含めてうまく情報統制できる体制にしているのだな
ってのが私が気づいた点ですね。

だから今海外移住したい人は結構潜在的に数は多いんですけども、

そもそも情報難民化しておりまして、

海外に住むための実際の手続き、ノウハウ、さらに
海外に住んだ後は意外に結構なんとかなるみたいなところを
知らない状態にさせられているってことですよね。

だからまあ日本にいと考えさせられることって多くて
最近では官僚とか役人公務員が相当力強くなっている状況のようで、

正直言うとこの日本という国は結構危険な国なのかな・・・

ってのはすごい感じるところでもあります。

ただインフラだけは綺麗ですので一見、先進国に見えるんですよ。

けど人々の思考とか情報がどんどん統制されつつあって

怖いな、というのもちよっと色々話していて感じた点です。

そんでその社長さんが言っていたのが

「もうネットで情報を取れる時代でもないから

こうやって海外に住んでる人が時々やってきてそれをつかまえて

情報を教えてもらう時代になってきたな。対面じゃないと情報得られない」

ということで、私はメルマガで無料で書いてるんですけども・・・(笑)

ただやはりネットだと実際の現地情報とかって得られなくなっている

ってことですよ。

唯一、英語の検索だと結構まだ見つかるんですけど

日本語検索はその中でもかなり厳しく情報統制されてるな

という印象です。

なのでネットが出て情報革命なんていわれて皮肉なところですが

実際に会って情報を知るとかそういうのが

日本語圏の人は特に重要になってきている

ってことですね。

資産の格差というのは実のところ情報格差に直結してる

ものでもありますので

この辺はすごい考えさせられました。

例えばの話、こういう社長さんたちといろいろ情報交換してる人たちと、

ネットやテレビで山口メンバーの話をずっと情報として

メディアに頭にインプットされてる人たち

どっちのほうか収入とか資産が増える??

っていうとやはり前者ですよ。

それで最近私がすごい印象的だった記事があつて

甲斐さんという立派な起業家さんが書かれていたことで

あるICOでまあ 日本人の購入者さんだけが

MEW(マイイーサレット)の使い方を事務局さんに聞いてくるらしくて

なぜなのか? ということで

他の国の人には誰一人としてそういう人はいなくて

分からないことは自分で調べられる点であれば調べてなんとかしてるのに
日本人だけやたら聞いて来るんだそうです。

そこで恥ずかしいのが

その事務局のメッセージが

ICO購入者向けの英語圏の人たちにも共有で一斉にそれが
流されたと。

自分の通貨を自分で管理するのは当たり前だし、その使い方は
検索すれば出てくる話だし、

なぜにここまで依存心が高くなっているのか？

ってことで日本人の購入者だけが少し「変わってる」

もつという依存心が高い、ってことで

注意喚起とともに世界の購入者たちに英語で知らされたわけですよ。

これ、ちょっと恥ずかしいことですが実際の実事なんです。

それでこれは日本人が思考力が明らかに低下しているのではないかと

という話であって 最近昔と比べても馬と鹿さんになりつつあるのではないかと

という話でして、私はすごい考えさせられたけど

実際にそれがICOという分野でもちょっとした話題として

出てきちゃったっていうことですよ。

んでこれは何故だろう??と私もスゴイ考えたのだけど

理由はいくつも考えられるけど、それこそ教育もそうだし

マスメディアの情報もそうだし、

社会構造も、政治構造もそうなんだけど

大きな原因のひとつはどうもこの情報統制にあるのではないかな

と言うのは感じたわけです。

例えば海外では以前扱ったけど

消費税廃止を公約に掲げたマレーシアのマハティールが

選挙で逆転勝利したことが一面で報道されていたわけです。

BBCはトップニュース。

http://yuhfx1.com/gazou/malay/mahatir_hikaku1.jpg

CNNもトップニュース

http://yuhfx1.com/gazou/malay/mahatir_hikaku3.jpg

ブルームバーグもトップニュース

http://yuhfx1.com/gazou/malay/mahatir_hikaku5.jpg

こんな感じです。

けど同時刻で、日本のメディアでは
マハティール勝利ニュースがトップどころか
ニュース一覧にもない状態。

これ日本のネットニュース
http://yuhfx1.com/gazou/malay/mahatir_hikaku2.jpg

「そのほかのニュース」の中になんとかそれがあつた。
http://yuhfx1.com/gazou/malay/mahatir_hikaku4.jpg

そんで海外の人は例えば上のマハティール勝利の例だと
やはり彼がGST 消費税を廃止するといつて勝利したという
大きなアジアの流れをですね、

情報として得ているから「税とはなんなんだろう??」
とやっぱり考える機会は与えられているんですね。

けど日本だと、そもそも情報自体が統制されているから
消費税は日本でも10%に上がるのだけど

それ自体の是非も考えるきっかけが与えられないわけです。

マハティールは6月から消費税廃止するけど、けどマレーシアって

国家としては問題なくやっつけていけるんですね。

それ、なんで??と思ってそこから考える思考が始まるんだけど
その機会さえ日本の人は与えられない状態になってしまっていると。

だからどうも今の日本のこの状況は情報統制なんかに大きな原因が
あるんじゃないかな～うーんということで

私は日本にいとほんと考えさせられることが多いわけです。

だから日本人に「マハティールが勝ったんですよ～」とかいっても
やっぱり「あ、そうなんだ！マハティール聞いたことある」っていうくらいで
ニュース自体を知らない人も多いんだけど

それはその人たちが悪いんじゃなくて単純に
「知る権利」が日本居住の人は剥奪されてるってことだと
思いますよね。

だからまあすごい私は考えさせられたってことです。

だから私が思ったのは海外にいる邦人、日本人も義務とまでは
言わないけど、

やはり自分が海外に住んでいて知ってる情報を発信する

役割、使命はあるように思っていて

そういう人が増えるのも大事なのかな？ってのは感じたところです。

例えばですね、日本で銀行預金をしたらマイナス金利もあって
実質ATM手数料考えたらマイナスじゃないですか？

100万円預けてる人は、ほとんど利子ってないはず。

けど、マレーシアだとCIMBなんかだと4%とか金利付くから

100万円預けてる人なら年間で4万円くらいはもらえるんですね。

1ヶ月あたり3333円くらいはもらえる計算。

けどこれもあまりネットには出ていないけど、

もちろん相当検索に時間費やせば出てくるんですけど

やはりみんな知らないわけでありませう。

ちなみに現地マレーシア人は金利で5%6%以上付いてる人も

マレー系だとおられます。

(だからマレーにいる邦人はそれを知ってるから

彼らが相当蓄財しているって知ってるんです)

んでこういうのを知ったら「じゃあなんで日本だけゼロ金利、マイナス金利なの？」

って話になるわけでした

そこで「なぜ日本とアメリカと欧州だけ金利がやたら低いのか」

って話になるわけで

それを突き詰めて考えていくと結局金融の

QE=ジャブジャブマネー に行き着くんですけどね、

それで実際はアメリカの債券市場を支えるために

先進国の人々が無金利の上で、それを負担してるっていう

構造がおぼろげに見えてくるわけですね。

そこで初めて「気づく」わけです。

ちなみにロジャーバーさんとも日本でお会いしましたが

彼はまさにそれをおかしい！と言ってるアメリカ人なんですよ。

それを日本人にも知ってほしいのだからと思う。

彼は私も尊敬するロンポール支持者だから。

だから情報がないと気づく機会、チャンスさえも奪われてしまう

ってことですよ。

それで海外移住に関しては要するに「これ以上脱出させてたまるものか」

という官僚の動きがありましてですね、

これはもっと言うとその社長さんには言わなかったけど

憲法で「居住移転の自由」ってのがあって海外移住はこの憲法を基礎として

可能なんだけど

その民衆の権利を奪いたってのが官僚の本音なんですね。

例えばですがベルリンの壁崩壊前の

東ドイツの人々は居住移転の自由が国家に

奪われて収奪され大変な思いをしたけど

それは同じく以前の北朝鮮の人たちもそうだったんですよ。

中国人でさえ、居住移転の自由はある程度制限されている。

んで日本の官僚たちも本音としてはそっちの方向に寄せて行ってる

んですね。

最近の「海外旅行税(出国税)」の話なんかは

やはりその文脈であろうと思います。

んで私は色々な社長さん、投資家と話していて考えさせられたけど

やっぱり官僚に嫌がらせされてるものなんです、

事業者たちは。

これはサラリーマンしてると官僚と接する機会はないけど

商売人、投資家たちは彼らと接したくないのに彼らから呼ばれたりするんですね。

んでまあ色々難癖つけて、いじめられる。

それで彼ら官僚というのは大体が東大出身で東大法学部出身であるやつが多いけども

彼らのマインドとしては、これは主流マインドなんだけど

「俺ら東大生はおまえら テスト勉強しない阿,,呆たちが遊びほうけてる間に、ずっと塾に通って勉強していたんだ！

そして俺らはエリート東大生になった！そして官僚になった。

だから俺らが遊ばないで勉強してエリートになったんだからその間遊んでいたやつからはいくらでも収奪してよいのだ」

これが彼らの主流マインドなんです。

本当にこのマインドを持ってる人が役人では大多数であってこれは彼らの言動に時々表れるわけです。

表面上では「国をよくしたい」とは言うんだけど

その「国」とは エリート官僚たちが組織する国家のことであり

国民、民衆のことではないんですね。

もちろん中には変わり者がいて、東大出身エリートでも

本当に素晴らしい徳を持って政治をしたいと思う人間もいるけど

そのタイプの人基本左遷されてるわけです。

(けど、官僚が政治をするってのもおかしくて

近代デモクラシーでは政治家が政治をします。)

だからまあ彼らからしたら民衆、国民は実質は

奴隷のように見えているんだけど

そこでその奴隷のように見えていた民衆が居住移転の自由を

行使しだしたら不都合なわけですね。

ちなみに憲法改正ってのがあって、これは法学を学んだ人じゃないと

それを作ってるのは誰か？が分からないけど

あれは法学の知識がない安倍なんかが作ってるはずなくて、

というのは

現憲法は

「第二十二條
何人も、
居住、移転及び職業選択の自由を有する。

2

全て国民は、外国に移住し、又は国籍を離脱する自由を有する。」

となってるんだけど

憲法改正後の22条は

「何人も、「公共の福祉に反しない限り」
居住、移転及び職業選択の自由を有する。

何人も、外国に移住し、又は国籍を離脱する自由を「侵されない。」

となってるわけです。

だから「公共の福祉に反しない限り」というのが追加されて

また自由を有する⇒「侵されない。」という表現に変わってまして

こういうやり方は官僚得意のやり方でして

まさに法学部の官僚たちが作ったとしか私には思えませんが

こうやって「居住移転の自由を縮小」させようという動きは

やはり官僚たちの間にあるんですね。

この辺は実務としては

あまり文章を読むのが得意ではない安倍はよく分かっていないはずで
やはりこの辺の部分は東大出身官僚たちが文言作成に関わってるはずです。

だから大きくは日本人の居住移転の自由を縮小させるっていう
動き、狙いがある中で

その中で海外移住の情報が統制されているっていう大きな構図が
分かってくるわけですね。

だから実のところ、この海外移住の情報が統制されてるっていうのは
憲法の居住移転の自由を官僚たちが縮小させたいっていう

大きな統制国家化の中で起こってる必然的な流れであるってことです。

それで今回私は起業家さんや投資家さんと話してそれを肌で
感じ取ってまして

表面上は平和でインフラもきれいな国なんだけど
少し政治が官僚が強すぎて危うい国になってきたな～なんて
考えてました。

今の時代

情報統制がとにかくすごいですから、

これからなんとか人間らしく生きて行きたいという人は
自分なりに独自の情報の取り方を構築していく必要がありますね。

日本でいう「普通の人」は洗脳されてる人たちが多く
逆に日本でいう「変わった人」とか「変な人」は世界基準では
当たり前知識を持ってたりするという傾向が強くなって
ると思います。

それでは！

ゆう